



河谷 史郎

文化的遺産の修復を考える

歴史的建築物の素材検証と修復研究会

RC-84

1. 代表幹事

河谷史郎（東京大学 生産技術研究所 特任教授）

連絡先

河谷史郎

Tel : 03-5841-0911

Fax : 03-5841-0914

e-mail : kawatani@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

東京大学本郷キャンパスを散策すると、多くの内田ゴシック建築が林間に顔を見せる。しかし、建物に近寄って見ると石組を補修したモルタルの粗雑さ、外壁タイルの欠け、目地から流れる白いアク、雨水のためだけの無残な雨樋などが、散見される。目を建物内部に転じると、腐食と汚れ、それを覆い隠すかの様な粗末なペンキの塗固めなどで本来の素材の良さを見えなくしている。

これらの建物を修復できれば文化的にも素晴らしいものになるであろう。また、これらの部位は手作りの物が多く、現代の直線の多い大量生産の味気無いものと違い丸みや温かさ、そして品格を備えている。

研究内容は、「構成するデザインと素材検証」である。研究会は実践的に元の色、形、素材を調査し修復する事を目指す。

3. その他

年会費：賛助員の場合（賛助会費1口10万円）：年会費5万円

（但し、実績に応じて年会費に差異が生じます。詳細はお問い合わせ下さい。）

定員：特に規定しない

運営方法：1) 運営委員会／大学と幹事会社2社と他3名程度で、運営委員会を年3回程度開催し、基本的な運営方法を策定する。

2) 部会／部会を作り、テーマに沿った研究会を月1回程度開催する。

3) プロジェクト対応／実際の設計、施工監理を共同研究企業と契約し、進めていく。



① 手摺子部分 補修前



② 凹凸を無くすためのバテ処理



③ 磨き



④ 銅粉の吹き付け



⑤ 古色仕上げ